

## 第 44 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 4 年 12 月 8 日（木） 午後 4 時 30 分～午後 5 時 10 分

場 所：堺市役所本館 4 階 秘書課会議室及び Web 会議システムによるリモート接続

議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について

2. 第 8 波に備えた医療・療養体制強化等について

3. 今後の本市の対応について

4. 本市のワクチン接種の状況について

### 【開会にあたり市長より】

- ・新型コロナウイルスの感染状況は、全国的には 10 月半ば頃から顕著な増加傾向にある時期もあったが、堺市では大幅な感染拡大は抑えられていたと考えている。
- ・ただし 11 月下旬頃から新規陽性者数が前週を上回る日が続いている。また、入院される方も増えつつあり、今は警戒すべき時期と認識している。
- ・本日の会議では、現状の把握とさらなる感染拡大への備えや対応を確認する。年末年始を迎えるにあたっての体制についても協議し、確実に対応できるよう認識を共有したい。

### 【議題説明及び質疑】

#### 1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について（健康福祉局長）（消防局次長）

（※資料 1、参考資料 1 参照）

- ・過去 2 年は、1 月に感染が拡大した。現在、陽性者数は微増傾向を示しており、感染拡大が再燃しないか警戒する必要がある。

#### 2. 第 8 波に備えた医療・療養体制強化等について（健康福祉局長）

（※資料 2 参照）

- ・大阪府の想定等をもとに、第 8 波では 1 日に最大で 3,100 人の陽性者が発生すると予測。季節性インフルエンザと同時流行になれば医療体制のひっ迫が懸念される。
- ・こうした状況に備えるべく、医師会や医療機関の協力をいただき年末年始を含む外来医療体制の強化・重点化を図っている。
- ・また、高齢者施設・障害者施設等の施設内療養支援に加え、多数の自宅療養者へ対応するための支援体制の強化や、LINE を活用した問い合わせ対応などの利便性向上や患者搬送体制の強化など、市民の皆様の不安に対応し支援を行う。

（島田副市長）

セルフチェックのための抗原検査キットは簡単に手に入るのか（流通状況も含めて）。

（健康福祉局長）

現在、薬局などで手に入る。販売店舗はホームページに掲載している。

#### 3. 今後の本市の対応について（危機管理監）

（※資料 3 参照）

- ・年末年始にかけて市民の皆様には、特に部屋の換気を意識することや年内のワクチン接種の

検討、国が承認した検査キットや解熱鎮痛薬の用意を中心に呼びかけていく。

(総務局長)

- ・職員の感染も増加傾向にある。年末年始は飲食店の利用や移動の機会が多くなると思うが、会食時や移動時における感染対策の徹底を改めて職員に周知徹底する。

(教育監)

- ・給食時の黙食については国の基本的対処方針の変更や通知を踏まえ、「感染防止策を講じたうえで会話を行うことも可能」という対応に変更する。
- ・また授業中等においても給食時間と同様に座席の配置や換気、大声は控えるという対策を講じることができる場面ではマスクは不要とする。

#### 4. 本市のワクチン接種の状況について (新型コロナウイルスワクチン接種推進担当理事)

(※資料4参照)

- ・年内接種に向けた取組として、集団接種会場において金曜日、土曜日の夜間接種を実施しているほか、ホームページやSNSによる年内接種を呼びかけている。

(中野副市長)

- ・今年から新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種が可能となっているが、医療現場の状況はどうか。

(新型コロナウイルスワクチン接種推進担当理事)

- ・本人が同時接種を希望した場合以外は、一定期間を空けて接種していることが多いと聞いている。インフルエンザの予防接種のピークは10月～11月で、これ以降に新型コロナワクチンの配送希望が増えている状況。

(島田副市長)

- ・オミクロン株対応ワクチンの接種が可能となっている。職員の感染も増えているため、所属長からも接種するよう呼びかけてもらいたい。

#### 【閉会にあたり市長より】

- ・過去2年間の感染状況の推移では、規模は異なるがいずれも年末年始の休暇明けから感染が拡大している。
- ・本日、第7波を超える状況にも対応できる体制を確認したが、第6波のように想定を超える事態となることも十分に考えられる。
- ・これから特に警戒すべき時期に入るため強い緊張感をもって臨み、どのような事態となっても落ち着いて対処できるよう、普段から各部門の状況に応じて想定を行っておくこと。
- ・各職員は感染が広がりやすい時期であることを十分に認識したうえで、感染リスクを抑える行動を取るよう、各部門で意識の徹底を図ること。